

ESG説明会

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned above the letter 'C'.

AGC株式会社

2023年9月4日

Your Dreams, Our Challenge



長期経営戦略「2030年のありたい姿」	P.03
－ 事業ポートフォリオ変革	P.05
－ サステナビリティ経営の推進	P.09
－ Environment	P.10
－ Social	P.28
－ Governance	P.37
付属資料	P.41

長期経営戦略「2030年のありたい姿」



- 社会的価値と経済的価値の両立により成長

独自の素材・ソリューションの提供を通じてサステナブルな社会の実現に貢献するとともに継続的に成長・進化するエクセレントカンパニーでありたい

企業価値向上

社会的価値



5つの社会的価値の創出

サステナビリティ経営の推進

経済的価値



安定的にROE10%以上

事業ポートフォリオ変革



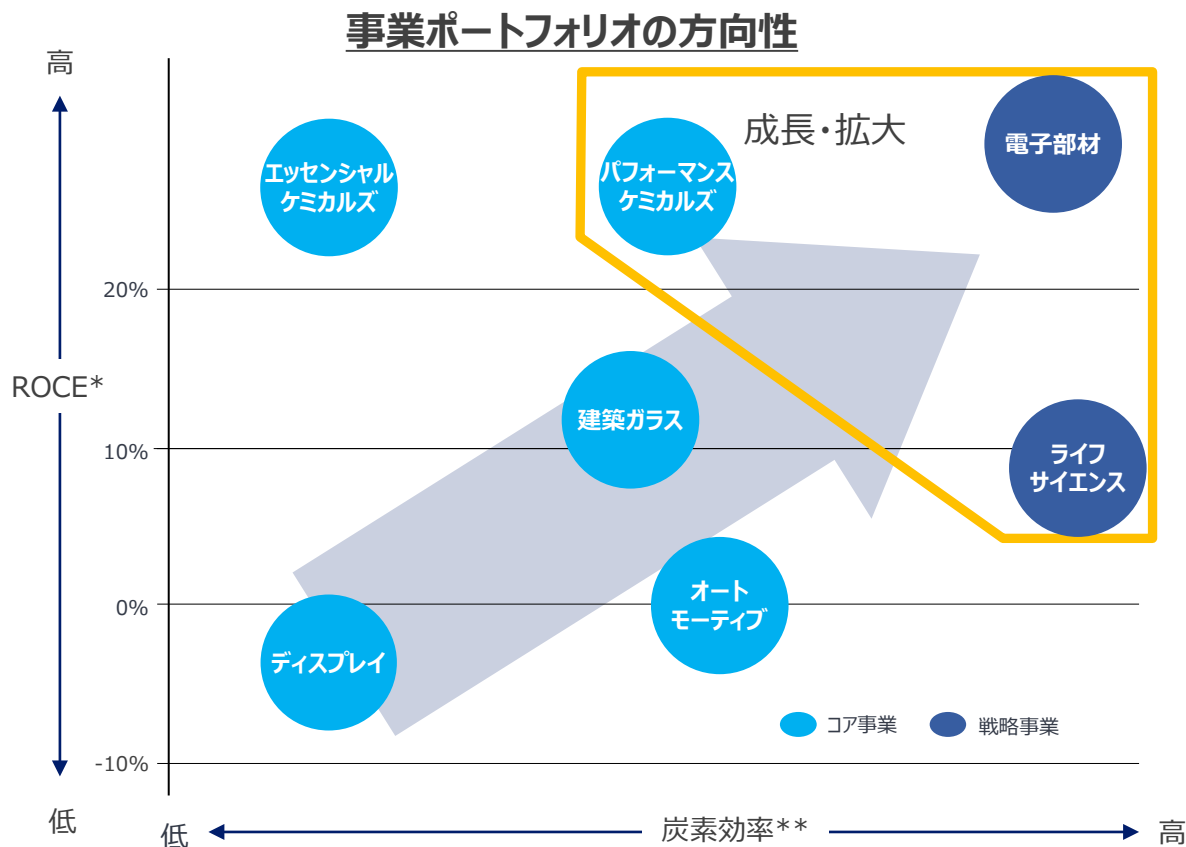
2030年のありたい姿実現に向けて

- ・ 事業ポートフォリオ変革
- ・ サステナビリティ経営の推進

- 両利きの経営の推進により、市況変動に強く、資産効率・成長性・炭素効率の高い事業ポートフォリオの構築を目指す

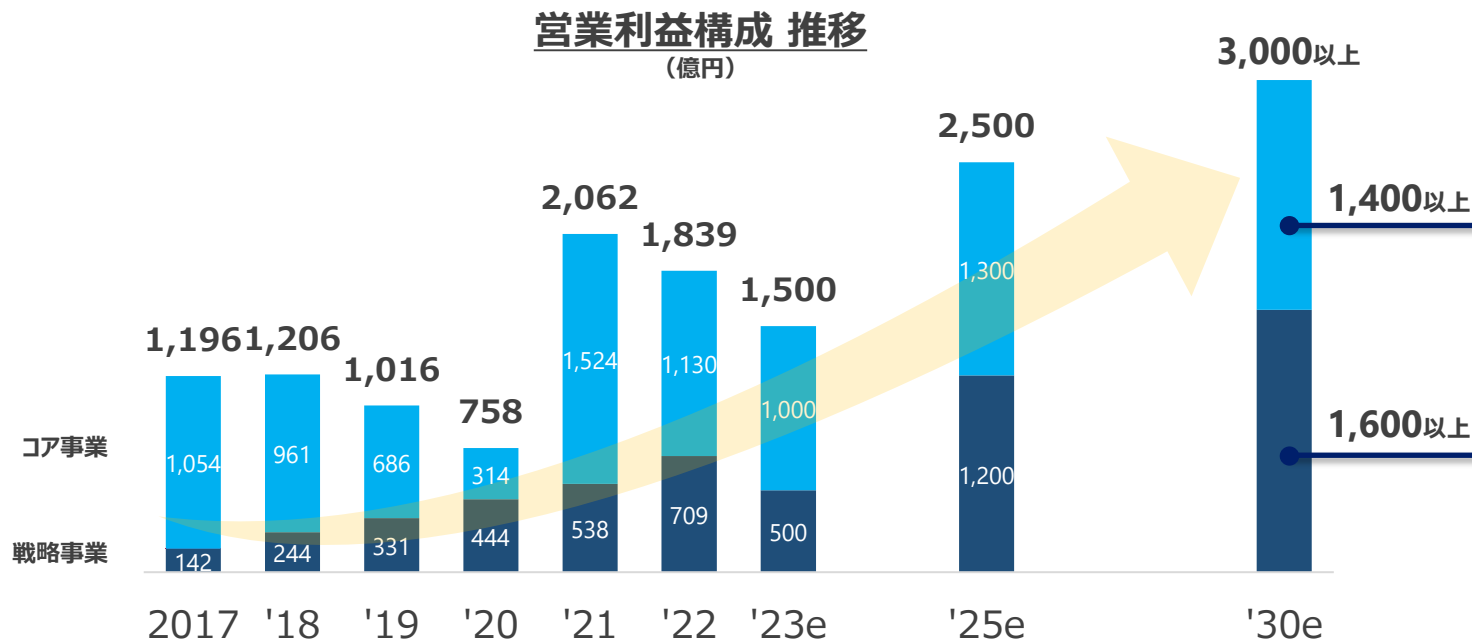


事業ポートフォリオ変革の方向性（炭素効率・資産効率）



事業ポートフォリオ変革のイメージ

- 炭素効率、資産効率の高い戦略事業が順調に拡大
- 2030年までに戦略事業の利益が全社の50%超となり、ポートフォリオ転換がより顕著に



2030年のありたい姿実現に向けて

- 事業ポートフォリオ変革
- **サステナビリティ経営の推進**
 - Environment
 - Social
 - Governance

2030年のありたい姿実現に向けて

- ・ 事業ポートフォリオ変革
- ・ **サステナビリティ経営の推進**
 - Environment
 - Social
 - Governance

- 気候変動関連の機会とリスクについてTCFDの枠組みに沿ったシナリオ分析を実施、
機会の獲得およびリスクの低減に向けた経営戦略や事業計画を策定

			発生時間軸		
			短期	中期	長期
2℃未満					
 移行リスク	政策・法規制	炭素価格の上昇	●	●	
	評判	顧客からのGHG排出量削減要求		●	
	技術	自家発電設備のGHG排出量削減		●	
 機会	製品サービス	建築物リノベーション市場の拡大	●	●	
		太陽光発電市場の拡大	●	●	
		水素関連市場の拡大		●	●
		EV・FCV市場の拡大		●	●
		次世代冷媒・溶剤市場の拡大		●	●
4℃					
物理リスク	急性	突発災害			●
	慢性	水ストレス			●
		気温上昇			

GHG排出量削減目標

- 2021年に中長期のGHG排出量削減目標を策定し、着実に推進



2020年

2050年に“カーボン・ネットゼロ”
(Scope 1+2)



2050年

2030年 マイルストーン* (2019年比)

Scope 1

GHG排出量
(Scope 1+2排出量)

30%削減

Scope 2

GHG排出量売上高原単位
(Scope 1+2排出量/売上高)

50%削減

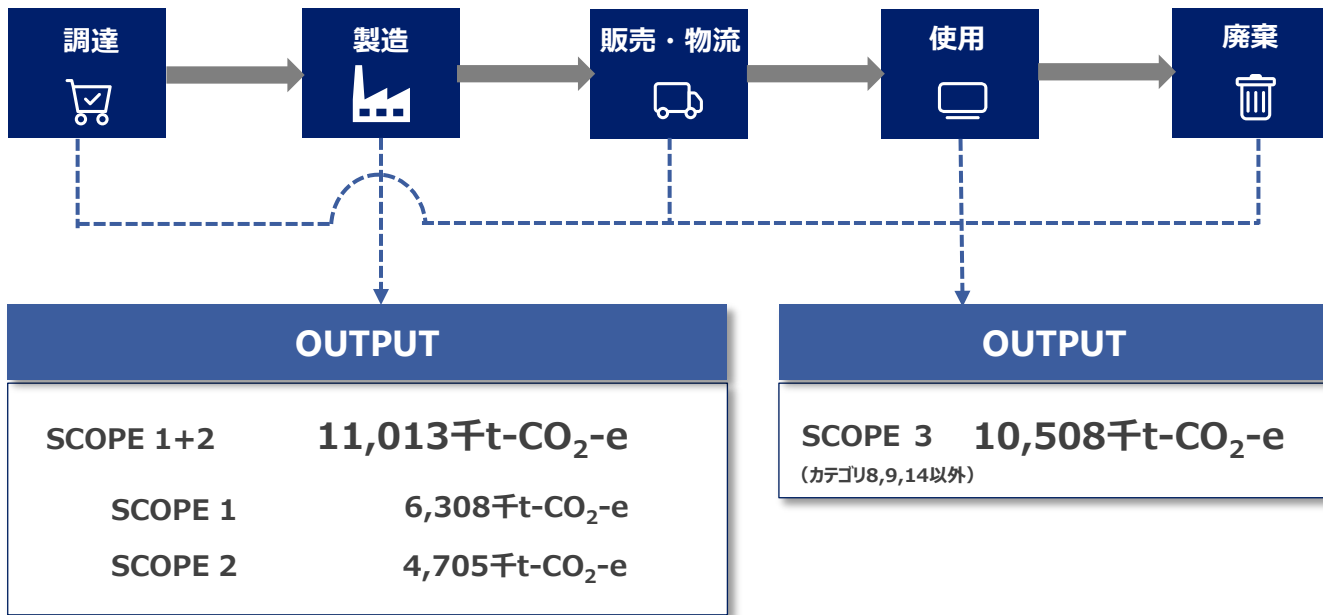
Scope 3

GHG排出量
(Scope 3排出量のうち、カテゴリ1、10、11、12の合計)

30%削減

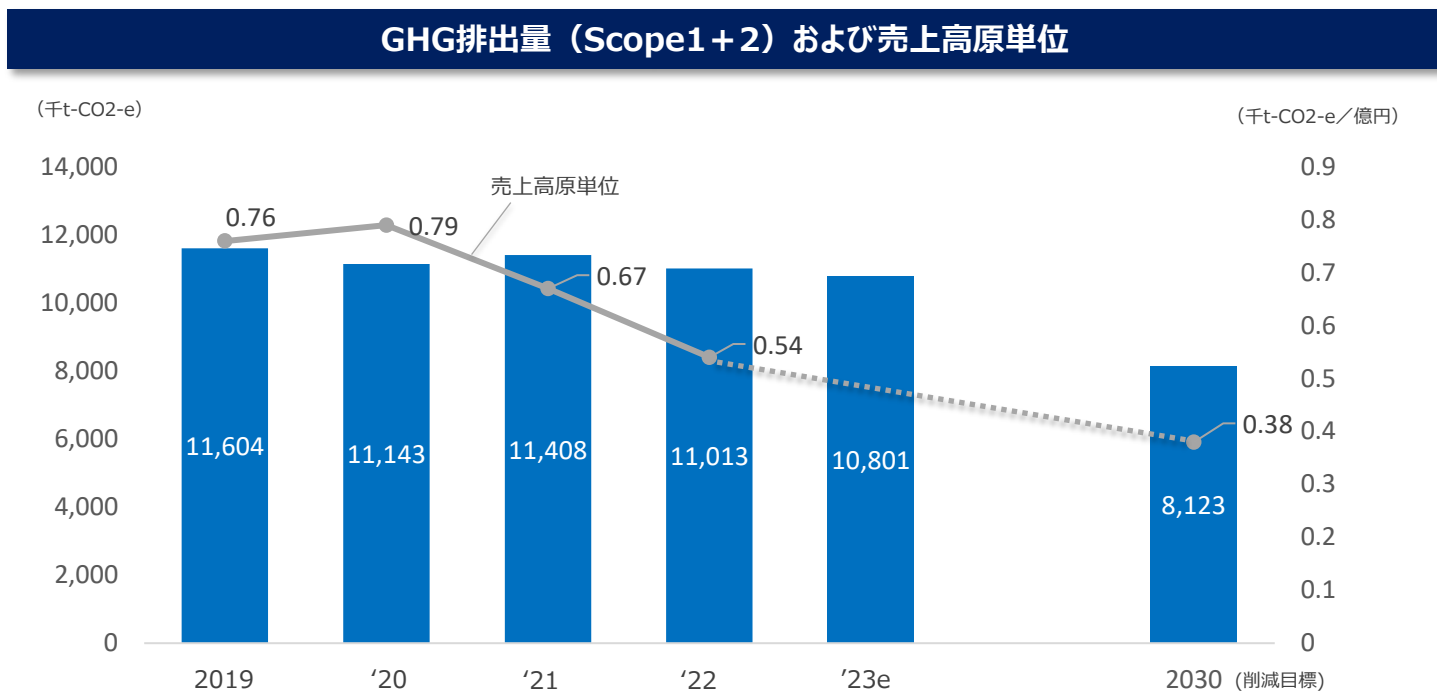
ScopeごとのGHG排出量内訳 (2022年)

- 2022年GHG排出量はScope 1,2で11,013千t-CO₂-e、Scope 3で10,508千t-CO₂-e



ご参考： GHG排出量削減の進捗

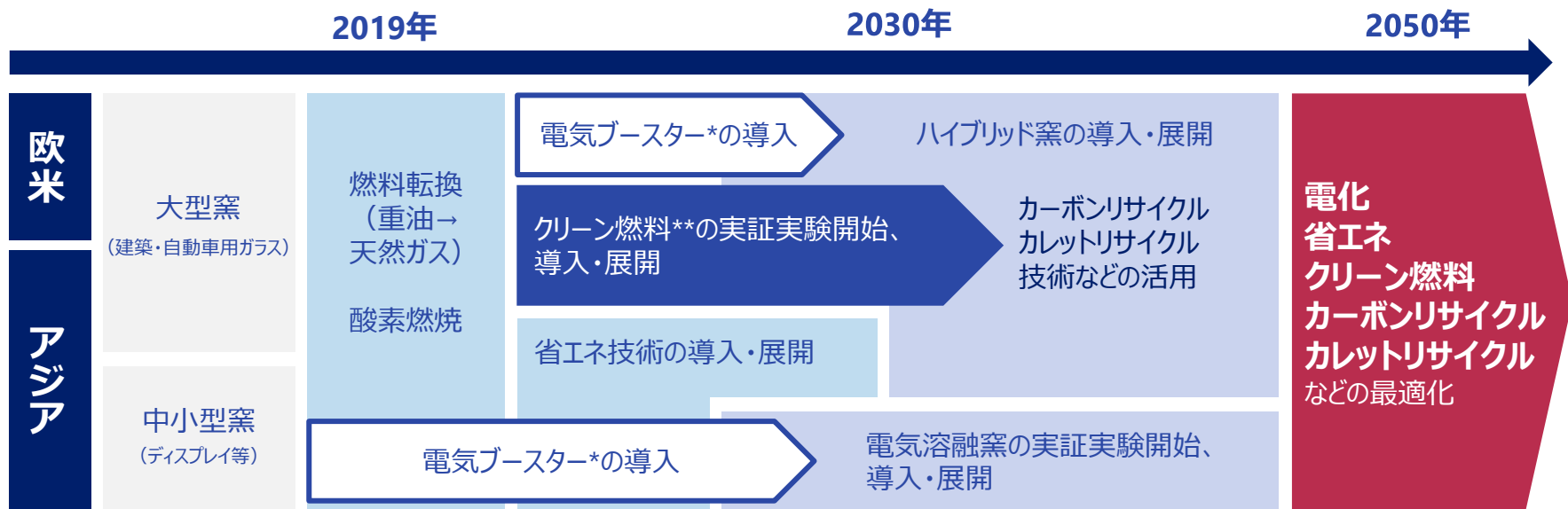
- 2022年は2019年対比でGHG排出量が約5%、売上高原単位は約30%を削減



フロートガラス溶解窯におけるGHG排出量削減技術ロードマップ[®] AGC

Year Dreams, Our Challenge

- 2030年に向けて、欧米では電化、アジアでは省エネを優先して進める計画
- 2050年に向けては、電化を中心に複数の技術を組み合わせて、目標達成を狙う
- 本ロードマップは、グローバルプロジェクトにおいてレビューし精査中



*通電補助加熱

**アンモニア、水素など

ご参考：

フロートガラス溶解窯におけるGHG排出量削減 グローバルプロジェクト

- 2050年カーボン・ネットゼロ目標達成のためには、窯の寿命も踏まえ、2030年には量産を想定した要素技術の開発・実証実験が必要
- **CTOが直轄するグローバルプロジェクト**を発足し、経済合理性を踏まえGHG排出量削減戦略を検討



プロジェクトでの検討内容

- 2050年に至るまでの各国におけるエネルギー価格、炭素コストなどの将来コストシミュレーションの実施
- 将来コストシミュレーションをもとに、要素技術における量産化の経済合理性を検証
- 要素技術開発の優先順位・絞り込みを行い、AGCグループにおけるグローバルでの技術展開など、全体の技術実装戦略を策定

ご参考：

サンゴバン社との共同開発により業界の脱炭素化に貢献

- サンゴバン社と板ガラス製造プロセスにおけるGHG排出量削減を目的とした共同開発を開始
- 電気溶融比率を向上させるとともに酸素燃焼を組み合わせる画期的な新プロセス(窯)の実証実験を2024年下期に開始

AGC

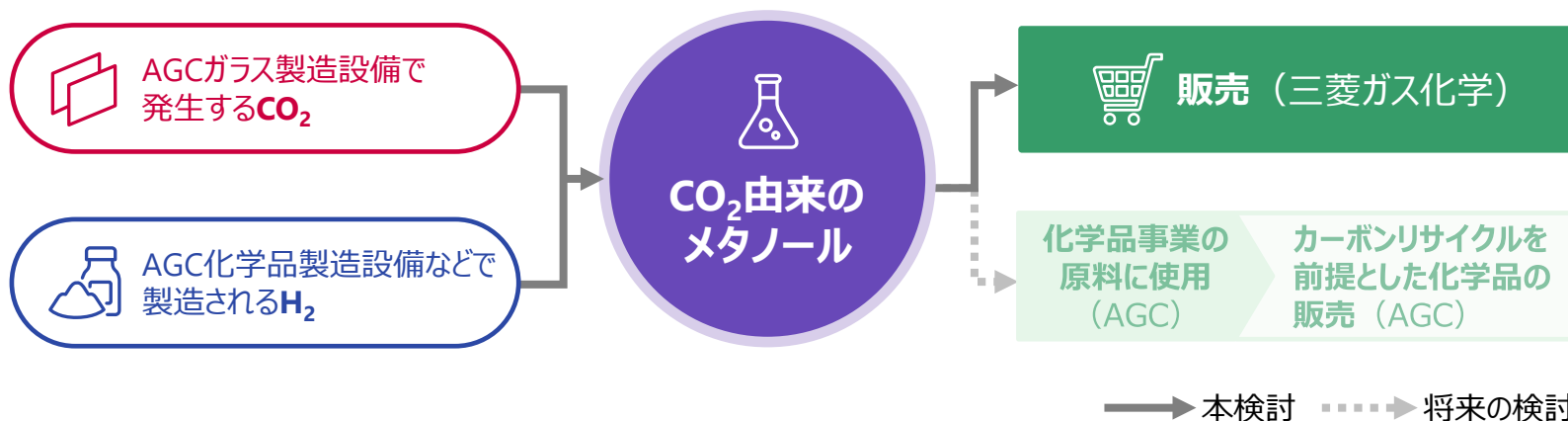



SAINT-GOBAIN

**新たなイノベーションを創造し
板ガラス業界の脱炭素化を加速**

- 三菱ガス化学社と共同で、板ガラス製造プロセスで発生するCO₂を原料としたメタノールの製造・販売を検討開始
- 将来的には、ガラス製造時に発生するCO₂を化学品事業の原料として社内カーボンリサイクルにつなげていくことを検討中

検討内容

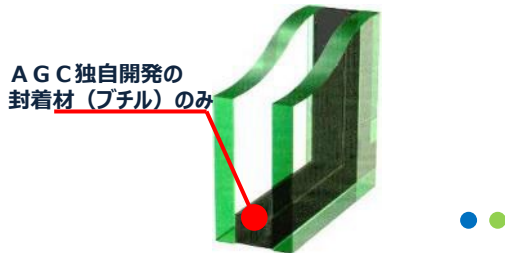


建築ガラスにおける世の中のGHG排出量削減貢献

- 真空断熱ガラス、建材一体型太陽電池など、環境対応型新製品を多数開発

サーモクライン®

A G C 独自開発の材料を使用、高耐久・高寿命・高断熱性に加え、リサイクルの簡易化を実現



真空断熱ガラス「FINEO™」

世界最高クラスの断熱性能と高耐久性を実現
欧州のリノベーション需要に対応



BIPV*

ガラス間に発電セルを封入した建材一体型太陽電池



Lowカーボンガラス

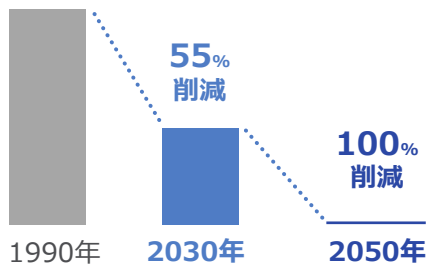
製品ライフサイクルにおけるGHG排出量を大幅に低減



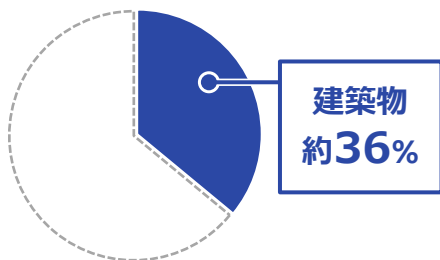
建築物リノベーション市場の拡大

- 欧州委員会は2030年までに欧州のGHG排出量を55%削減する目標を発表*
- GHG排出量のうち建築物からの排出が約36%を占め、2030年までに3,000万-3,500万棟（既存G評価建築物、既存建築物の15%相当）がリノベーション対象**
- 建築物のエネルギー性能向上が不可欠であり、**高断熱ガラス市場が拡大**

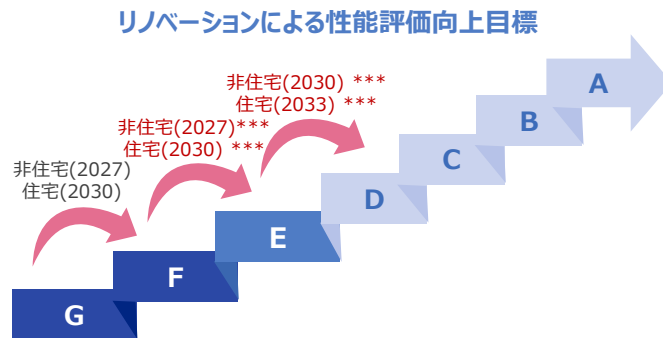
🌐 欧州GHG排出量削減目標*



🏠 GHG排出量割合*



📊 建築物のエネルギー性能評価**



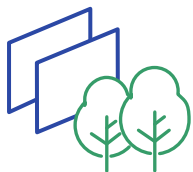
* 欧州委員会「グリーン・ディール」、「リノベーション・ウェブ戦略」

** 欧州委員会「Energy Performance of Buildings Directive」
(建築物のエネルギー性能指令)

*** 現在提出されている改正案における改善目標 ©AGC Inc.

ご参考：

カーボンフットプリントの少ない製品へのニーズが高まる

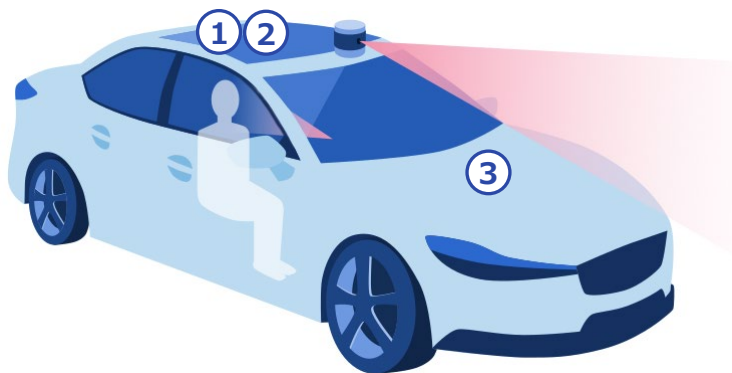


- グリーンビルディング化の流れを受け、カーボンフットプリントの少ない建材へのニーズが高まり、当社の高付加価値製品である**Lowカーボンガラス***の**需要が拡大**
- ベルギーでの生産に続き、フランスでもLowカーボンガラスの生産を開始



- カーボン・ネットゼロ社会に向けEV・FCV市場が拡大し、付加価値の高い**自動車用ガラス等の需要が増加**

EV・FCV市場拡大に伴う高付加価値品(例)



1 調光ガラス



2 Low-Eガラス



3 燃料電池用
電解質ポリマー



次世代冷媒・溶剤市場の拡大

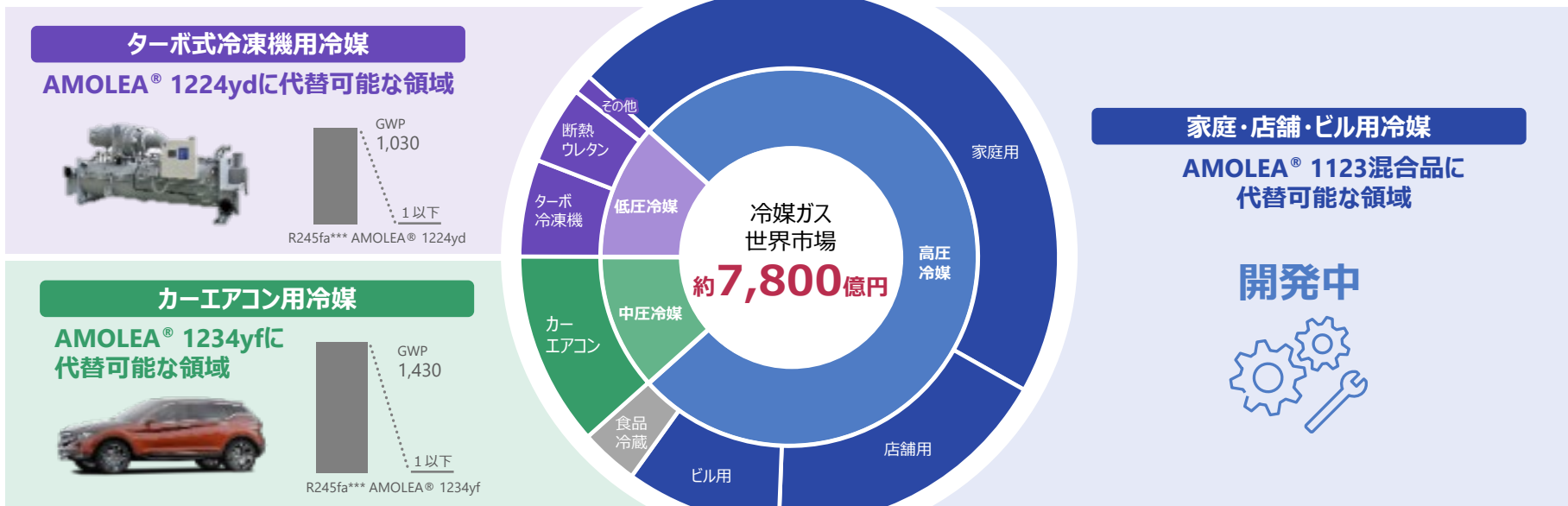


カーボン・ネットゼロ社会に向け、25年以降、既存冷媒から地球温暖化係数 (GWP*)の小さい**環境対応型次世代新冷媒・溶剤への転換が加速**



TCFD分析においても、低GWP冷媒市場は30年頃に22年の約3倍に拡大

ターゲット市場**



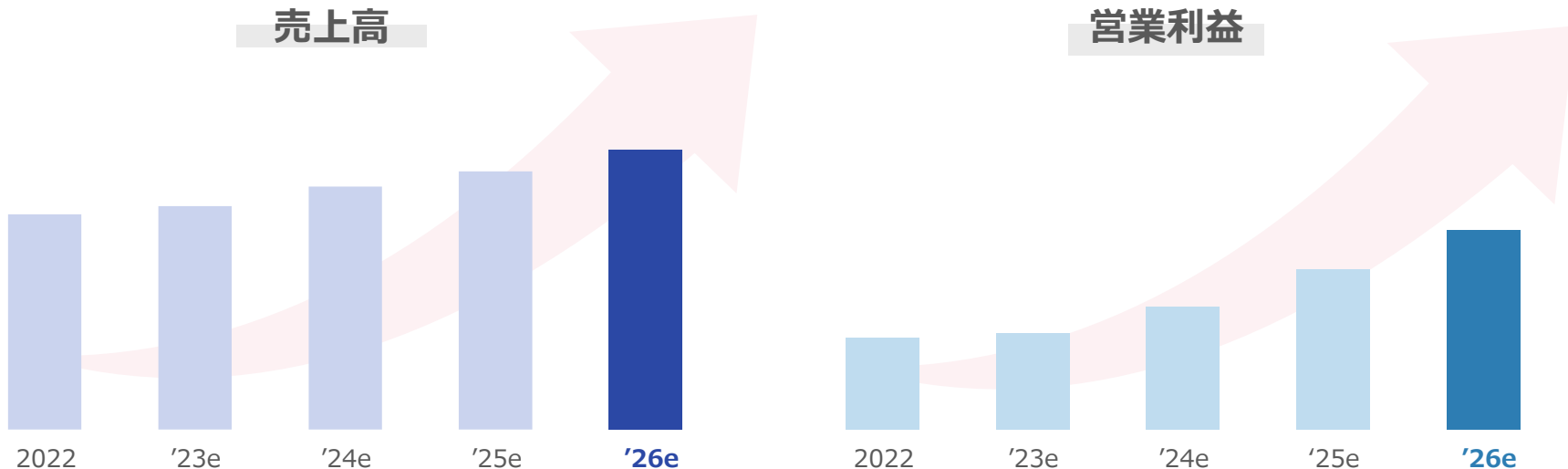
環境負荷を低減する製品（まとめ）

- 製品ライフサイクル全体の環境負荷低減を目指し、製品開発等を推進
- 社会的価値と経済的価値の両立により成長を目指す

ガラス	電子	化学品	セラミックス
<ul style="list-style-type: none"> ・フロート板ガラス (リサイクル原料使用製品、薄板化) ・Low-E複層ガラス ・コーティングガラス ・建材一体型太陽電池モジュール ・薄板ガラス(化学強化ガラス) ・自動車用ガラス <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ用ガラス (リサイクル原料使用製品) ・太陽電池カバーガラス ・光学関連部材 ・高速通信用部材 ・高出力LED用ガラス セラミックス基板 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低環境負荷型冷媒・溶剤 ・燃料電池用部材 ・フッ素樹脂 ・塗料用フッ素樹脂 ・太陽電池保護用フッ素樹脂フィルム <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火物 (リサイクル原料使用製品) ・超断熱セラミックス炉壁 ・バイオマス発電ボイラー用耐火物・エンジニアリング <p style="text-align: right;">など</p>

環境・エネルギー分野に貢献する製品 売上高・営業利益

- 2023年の**売上高***の約**11%**、**営業利益***は約**13%**となる見通し
- 市場拡大の機会を捉え、事業成長を実現



気候変動対応全体への今後の投資計画

- 気候変動対応に向け、2026年までの6年間で1,200億円*以上投資



気候変動対応に関連する累計投資額（計画）

- 先進的な取り組みと積極的な情報開示が高く評価され、CDP2022気候変動分野で「Aリスト」に選定
- 2022年12月にSBT*認定を取得

<CDP気候変動分野評価>



<SBT認定書>



2030年のありたい姿実現に向けて

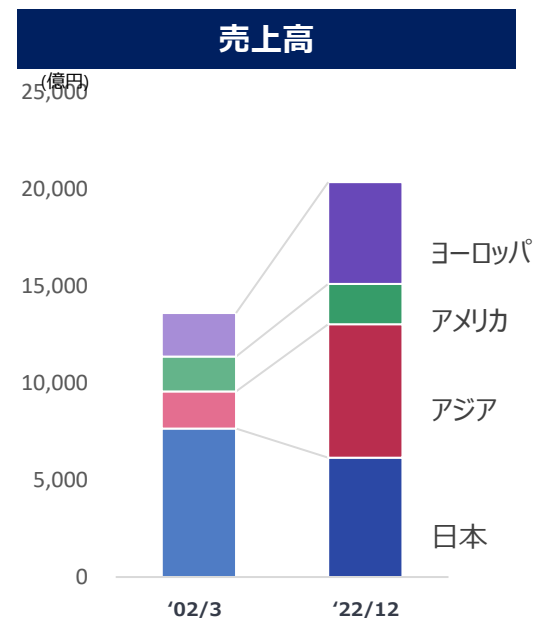
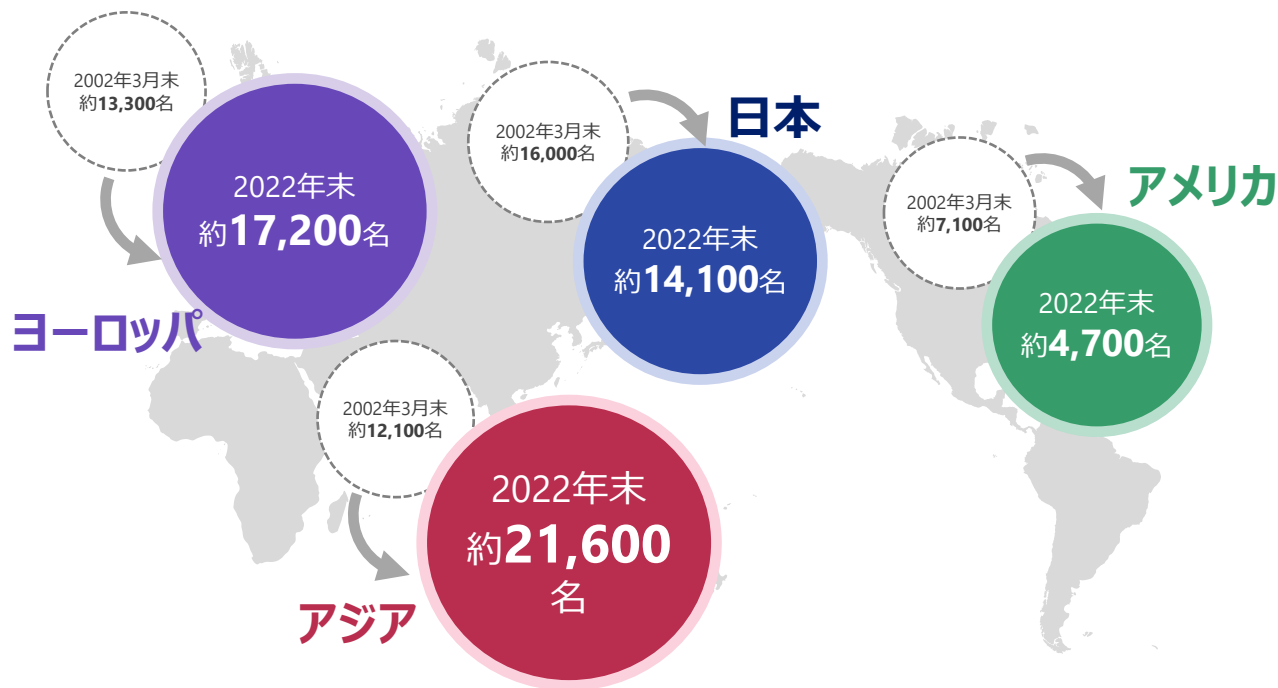
- ・ 事業ポートフォリオ変革
- ・ **サステナビリティ経営の推進**
 - Environment
 - Social
 - ・人財のAGC
 - ・サプライチェーンの人権
 - **Governance**

- 一人ひとりが、持てる仕事能力を最大限に発揮し、個々人の総和が強い組織をつくりだし、事業戦略や組織目標が実現され、会社と個々人の成長を生み出している



グローバルに多様な人財が集結

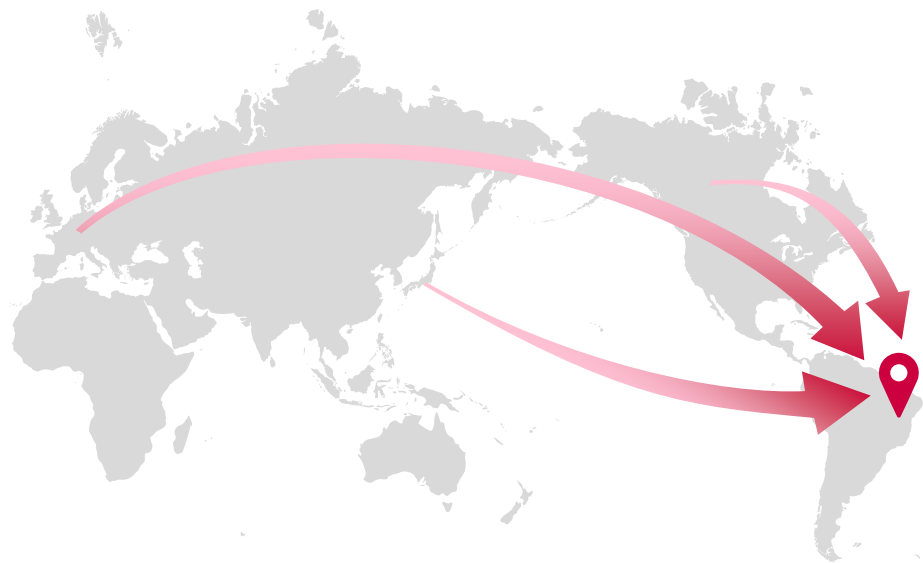
- グローバルなカンパニー制導入前の2002年3月末と比べ、人財が多様化
- 事業ポートフォリオ戦略に応じ各地域に多様な人財を配置



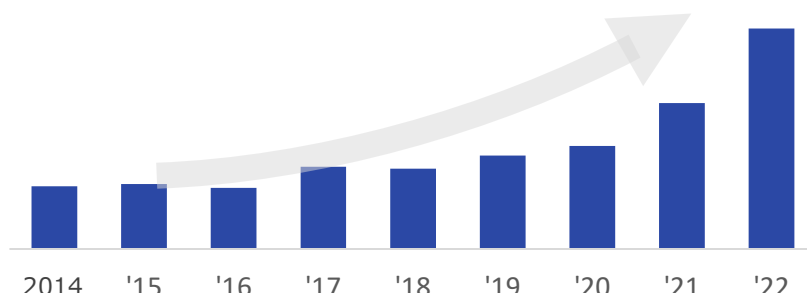
ご参考：

日欧米の精鋭が集結して立ち上げたブラジル拠点

- 初めて本格的な南米進出を目指したAGCガラスブラジル社の立ち上げプロジェクトでは、イタリア・フランス・チェコ・ベルギー・日本をはじめ、**13か国から優れたエンジニアが集結し**、Oneチームで立ち上げることに成功



南米の売上推移



AGCガラス・ブラジル社

ブラジルにおいて品質、サービスの面で最も高い評価を得ている
設立：2012年



- 創業以来、積極的に進めてきた海外展開で培ったノウハウを活かし、**ライフサイエンス事業のグローバル拠点展開を推進し、事業を拡大**

グローバル展開のあゆみ

30を超える国と地域に展開

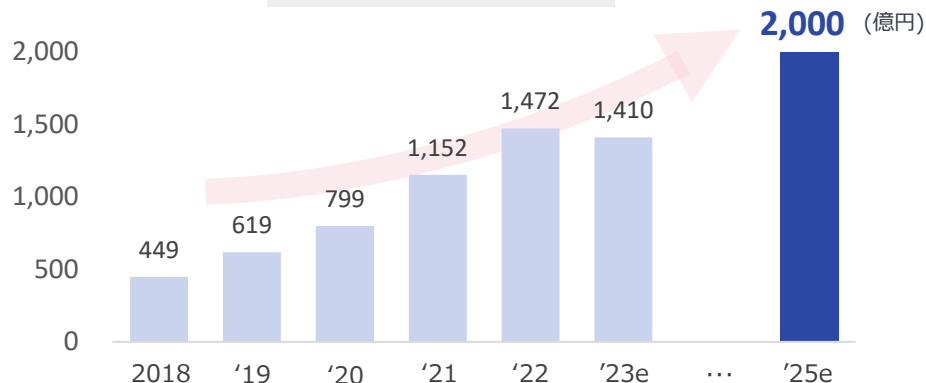
1956	インド	ガラス製造会社を設立
1964	タイ	板ガラス市場に参入
1972	インドネシア	ガラス事業を開始
1981	ベルギー	欧州板ガラス市場に本格参入
1985	北米	自動車ガラス事業に本格参入
1992	中国	板ガラス事業を展開
2000	台湾	液晶用ガラス基板の生産を開始
2003	韓国	PDP用ガラスの生産開始
2004	ハンガリー	自動車ガラス事業を開始
2012	ドイツ	ガラス事業提携
2013	ブラジル	ガラス市場に参入
2014	ベトナム	化学品事業を展開
2016	メキシコ	自動車ガラス事業の展開
2019	モロッコ	自動車ガラス事業の展開

ライフサイエンス事業のグローバル展開



2016年からグローバル拠点展開を始め、
現在は6か国10拠点に展開
(ドイツ、デンマーク、米国、イタリア、スペイン)

ライフサイエンス売上高*推移



ご参考：

ライフサイエンスにおける技術移管プロジェクト

- コペンハーゲン拠点の長年にわたる動物細胞事業の実績により蓄積されたノウハウを、積極的な人財や技術の交流などを通じて千葉拠点に展開
- 統合的なグローバル運営の下、どの拠点でも高品質なサービスを提供できる体制を強みに、事業の更なる成長につなげる



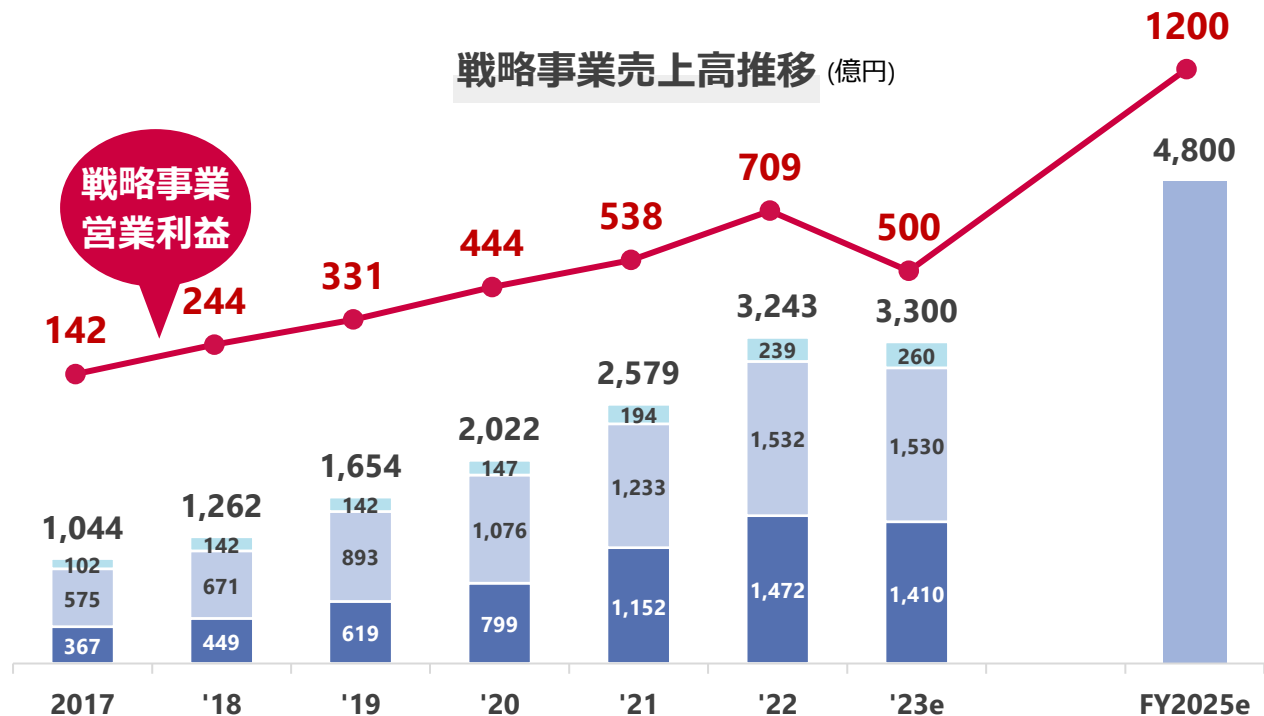
コペンハーゲン
(デンマーク)



千葉
(日本)



■ グローバル経営基盤と多様な人財の活躍が戦略事業の伸長を支える



主な製品・事業

■ モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材 (含5G通信)

■ エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

■ ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

2030年のありたい姿実現に向けて

- ・ 事業ポートフォリオ変革
- ・ **サステナビリティ経営の推進**
 - Environment
 - **Social**
 - ・ 人財のAGC
 - ・ **サプライチェーンの人権**
 - **Governance**

サプライチェーンにおける人権デューデリジェンスへの取り組み

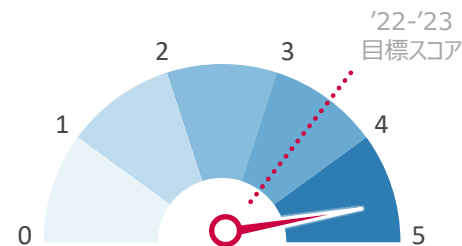
- AGCグループは責任ある鉱物調達と社会・環境に配慮したサプライチェーンを目指す購買取引基本方針のもと調達活動を実施
- AGCグループ購買取引基本方針の準拠に関するアンケートを2020年から開始
- **順次アンケート対象を拡大**し、サプライチェーン全体でのサステナビリティ向上を目指す

アンケート対象

	AGC単体 主要取引先	グローバル 上位取引先	高リスク鉱物 含有品取引先	各C・拠点の 主要取引先
'20-'21	✓	✓		
'22-'23	✓	✓	✓	
'23-計画	✓	✓	✓	✓

順次アンケート対象を拡大

アンケート平均スコア



'22-'23
目標スコア達成

2030年のありたい姿実現に向けて

- 事業ポートフォリオ変革
- **サステナビリティ経営の推進**
 - Social
 - Environment
 - **Governance**

- 取締役会による監督の下、サステナビリティ委員会は経営会議と同等に位置づけられ、環境活動を含むサステナビリティ関連事項の執行についての決定およびモニタリングの責任を有す
- 気候変動問題への対応は、気候変動対応会議でグローバルかつ事業横断的に社内部門が連携



- 多様な人財が、個々人の能力を最大限に活かす環境を整備するため、2022年にダイバーシティ・カウンシルを設置。部門横断的に情報を共有し、ダイバーシティ推進施策を加速

ダイバーシティ・カウンシル概要



具体的なダイバーシティ推進施策

「風土づくり」

ダイバーシティ推進の意義を組織全体に浸透させるため、トップ・経営陣によるコミュニケーションの機会を増加

「採用」

新卒・キャリア採用における女性比率の向上*

「人財育成」

役員候補層となる中堅・若手層の基幹人財の育成を強化

「働く職場環境の整備」

AGCが目指す働き方として「Smart working」のコンセプトを浸透させるとともに、企業価値向上に繋がる環境整備を継続*

AGCブランドステートメント：

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

A G Cは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

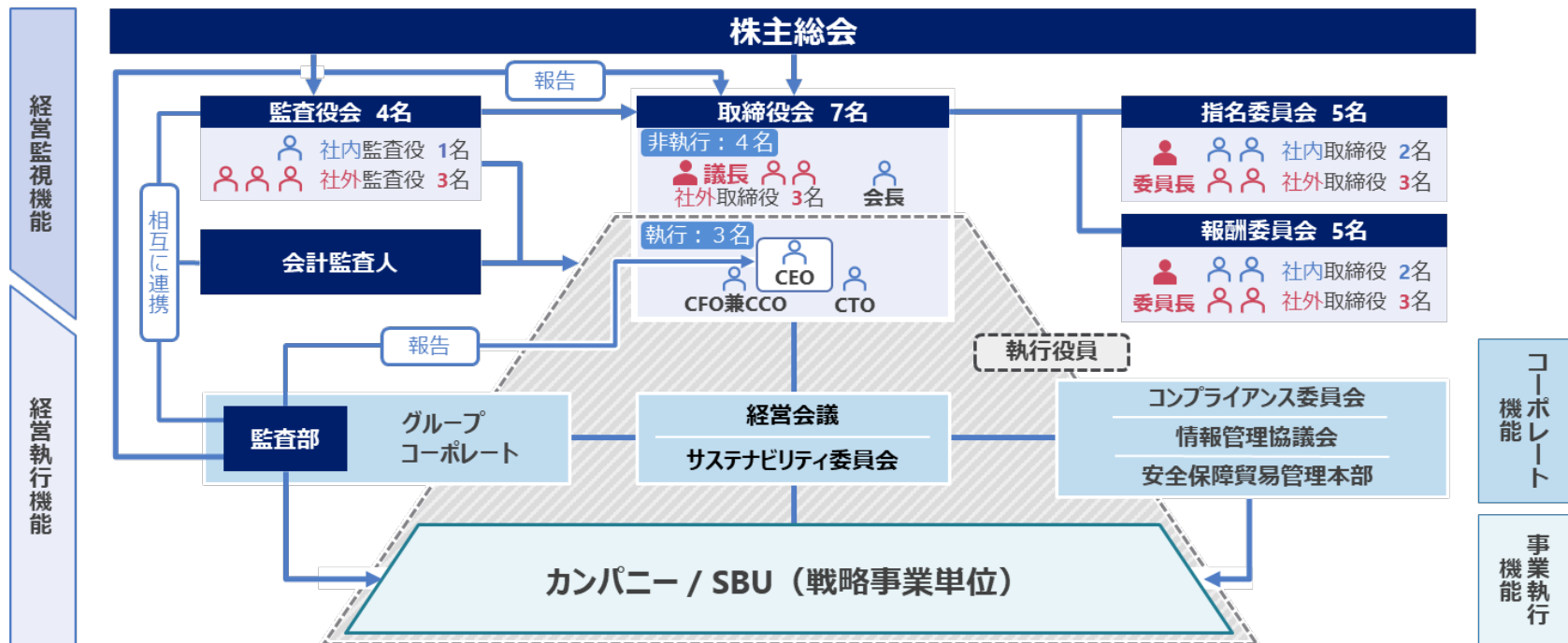
Your Dreams, Our Challenge

付属資料

コーポレートガバナンス体制

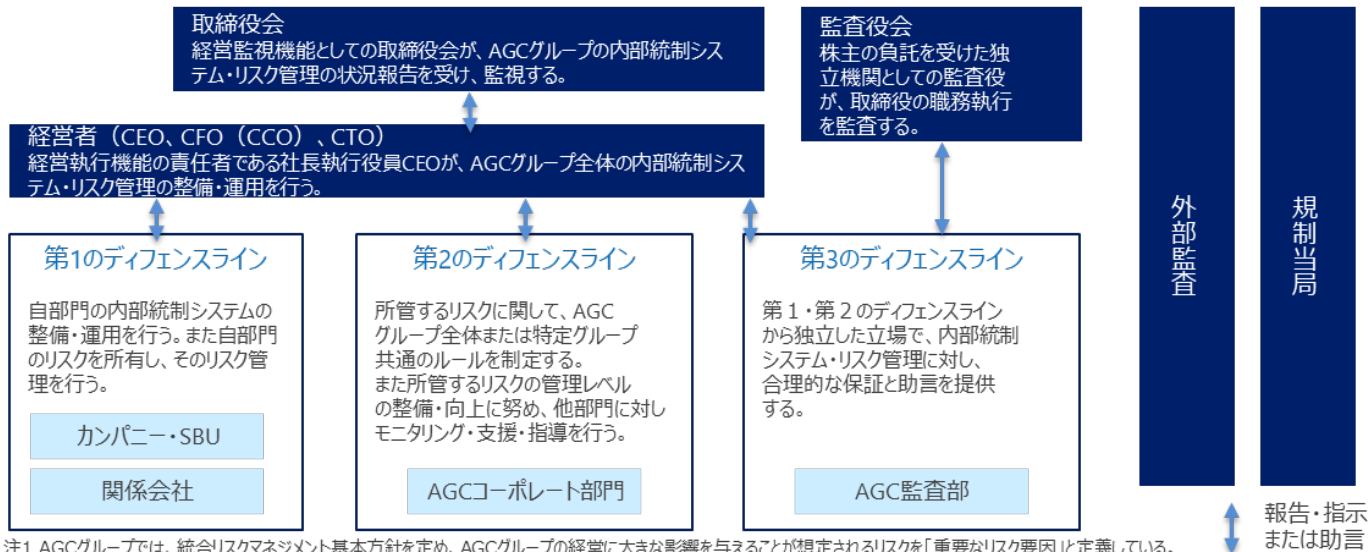
- 取締役会の監督の下、サステナビリティ委員会が気候変動問題への対応、ESGに関する非財務指標の策定等のグループ戦略を策定、進捗管理を実施

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



- 「AGCグループ統合リスクマネジメント基本方針」のもと、グループの経営目標の達成を阻害する要因（リスク）を定め、リスクの発現を抑制するための管理レベルと、リスクが発現した際の対応レベルに分けて管理するリスクマネジメントを実施

AGCグループ 3つのディフェンスラインモデル



注1 AGCグループでは、統合リスクマネジメント基本方針を定め、AGCグループの経営に大きな影響を与えることが想定されるリスクを「重要なリスク要因」と定義している。
注2 カンパニー・SBUは、関係会社に対して“第2のディフェンスライン”機能（例：企画管理部門・CSR部門）も持つなど、様々な関係会社管理の仕組みを構築している。
AGCコーポレート部門は、それらの部門と協力して、関係会社に対し支援・指導を行う。

社会的課題の解決に向け、事業活動を通じた5つの社会的価値を創出

安全・快適な都市インフラ
の実現への貢献



建築用Low-Eガラス



自動車用UVカットガラス



塩化ビニル樹脂

安心・健康な暮らしの
実現への貢献



医薬品（中間体・原体）



農薬（中間体・原体）



農業温室ハウス用フィルム

健全・安心な社会の
維持への貢献



地域社会との関係



周辺環境への配慮



サプライチェーンの人権

公正・安全な働く場の
創出への貢献



職場環境の安全

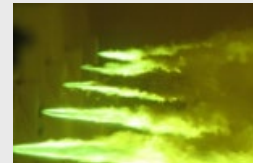


多様性



従業員エンゲージメント

持続可能な地球環境の
実現への貢献



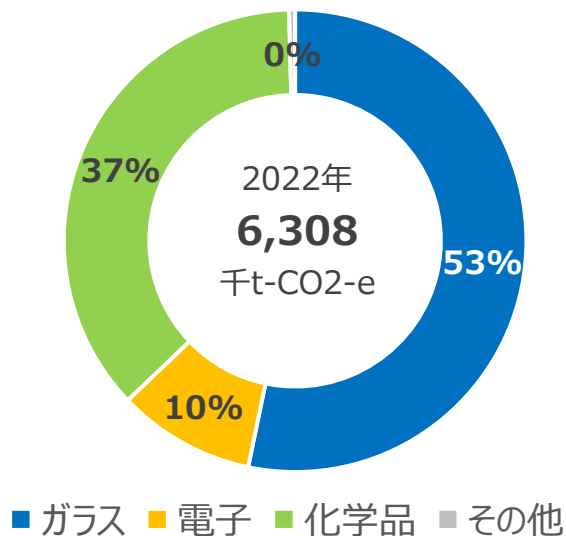
気候変動問題への対応



資源の有効利用

Scope1セグメント別内訳

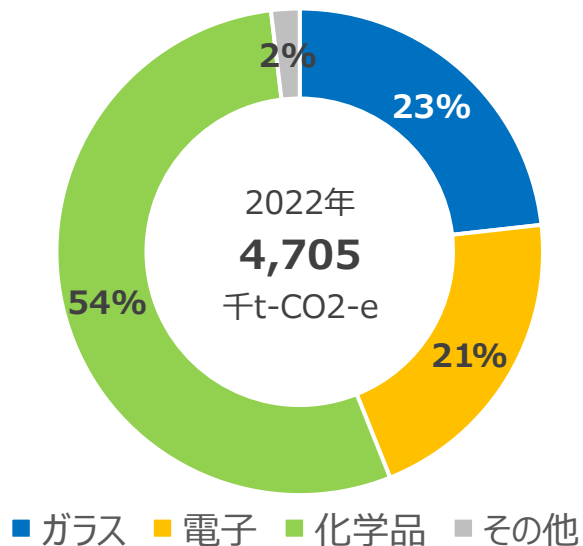
- Scope1の過半を占めるGHG排出源は、ガラス・電子セグメントのフロートガラス溶解窯
化学品セグメントの主なGHG排出源は、自家発電設備



Scope1	
Scope1 合計	6,308千t-CO ₂ -e
● ガラス	3,360千t-CO ₂ -e
● 電子	607千t-CO ₂ -e
● 化学品	2,315千t-CO ₂ -e
● その他	26千t-CO ₂ -e

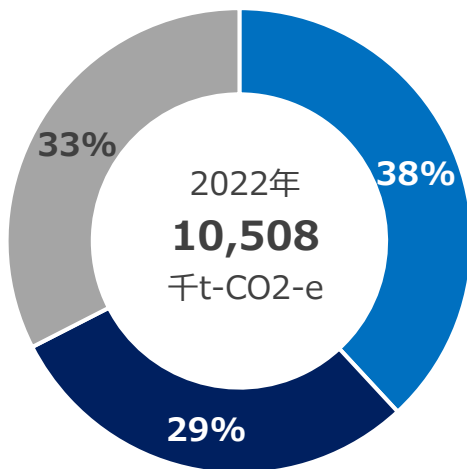
Scope2セグメント別内訳

- Scope2の主なGHG排出源は、化学品セグメントのクロールアルカリ電解設備ならびにガラス・電子セグメントの加工設備における調達電力



Scope2	
Scope2 合計	4,705千t-CO ₂ -e
● ガラス	1,093千t-CO ₂ -e
● 電子	975千t-CO ₂ -e
● 化学品	2,548千t-CO ₂ -e
● その他	89千t-CO ₂ -e

- 購入した製品・サービスと販売した製品の加工・使用・廃棄に伴うGHG排出量が全体の6割を占める

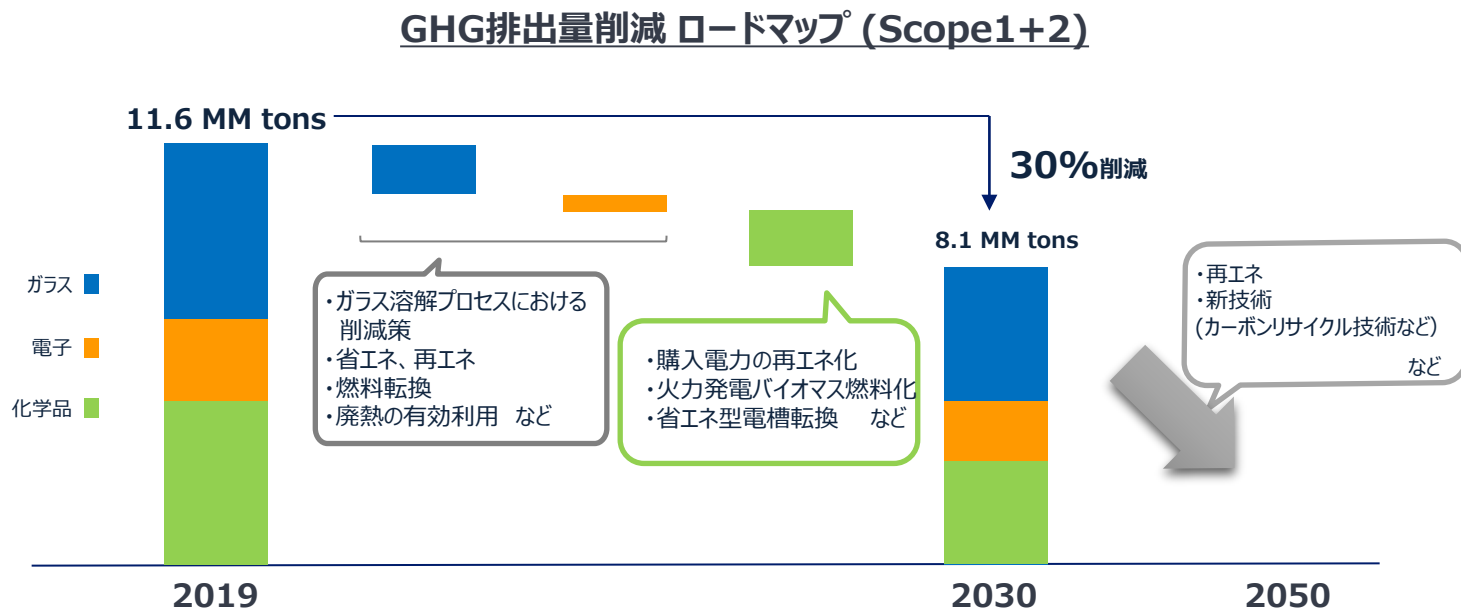


- 購入した製品、サービス(カテゴリ1)
- 販売した製品の加工・使用・廃棄(カテゴリ10-12)
- その他 物流・配送など

Scope3	
Scope3 合計	10,508千t-CO₂-e
● 購入した製品・サービス (カテゴリ1)	4,004千t-CO ₂ -e
● 販売した製品の加工・使用・廃棄 (カテゴリ10-12)	3,086千t-CO ₂ -e
● その他 物流・配送など	3,418千t-CO ₂ -e

GHG排出量削減 ロードマップ^o (Scope1+2)

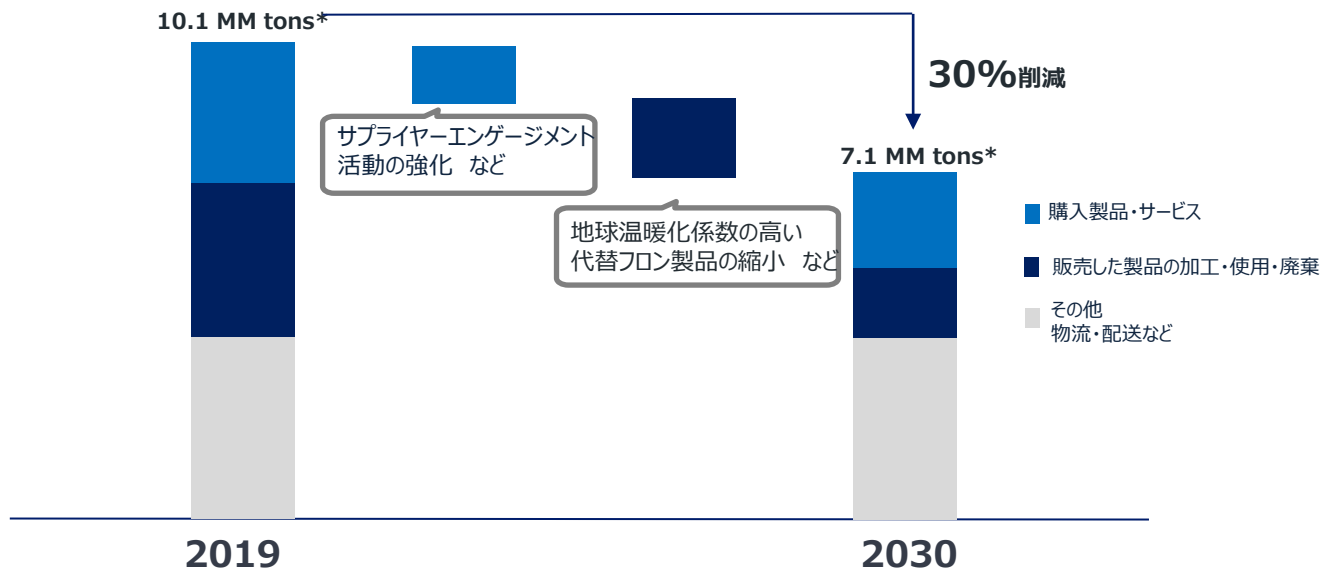
- 主要な排出源であるガラス溶解プロセスにおける技術革新に加え、クロールアルカリ事業の電力源の再生可能エネルギーへの転換、自家火力発電でのバイオマス燃料の活用により、2030年マイルストーンを達成する計画



GHG排出量削減ロードマップ (Scope3)

- サプライヤーエンゲージメント活動の強化や、地球温暖化係数の高い代替フロン製品の縮小などにより、目標を達成する計画

GHG排出量削減 ロードマップ (Scope3)



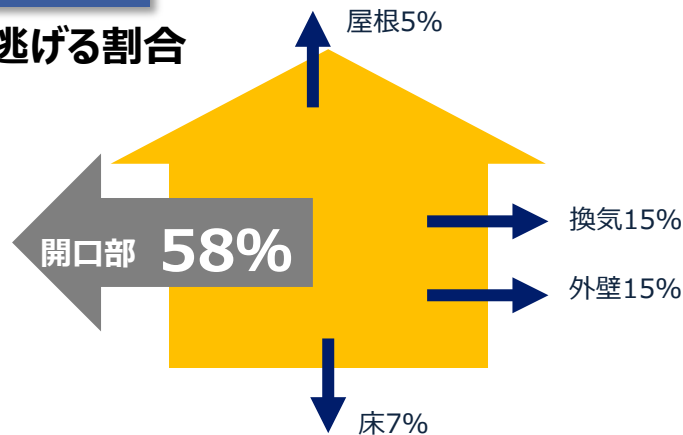
(ご参考) 窓ガラスの高機能化によるGHG削減効果

- 住宅における熱移動(暖房時)のうち約6割が開口部に起因
- 1枚ガラスをトリプルガラスに置き換えることで、熱貫流率を約9割削減*1、断熱ガラスがGHG排出量削減に貢献

住宅における熱移動*2(日本の場合)

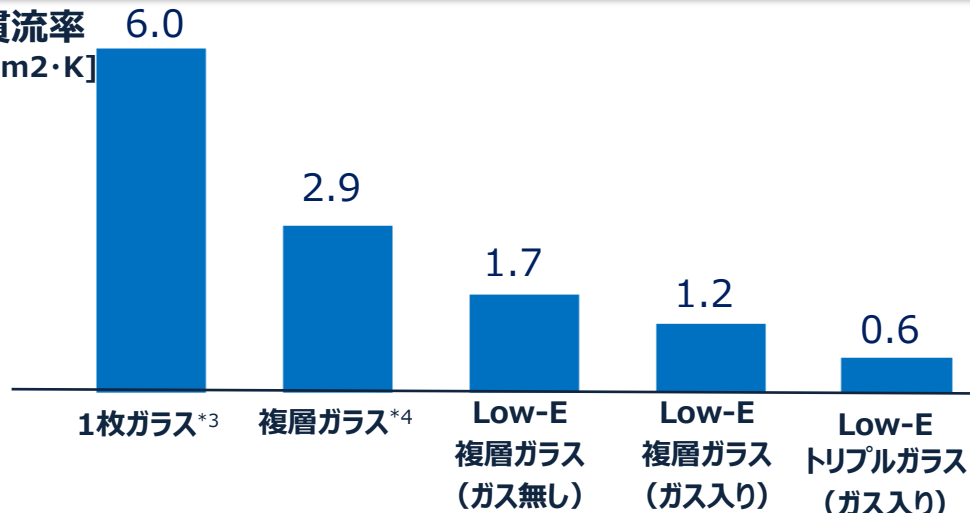
冬(暖房時)

熱が逃げる割合



窓ガラスの断熱性能

熱貫流率
[W//m²・K]



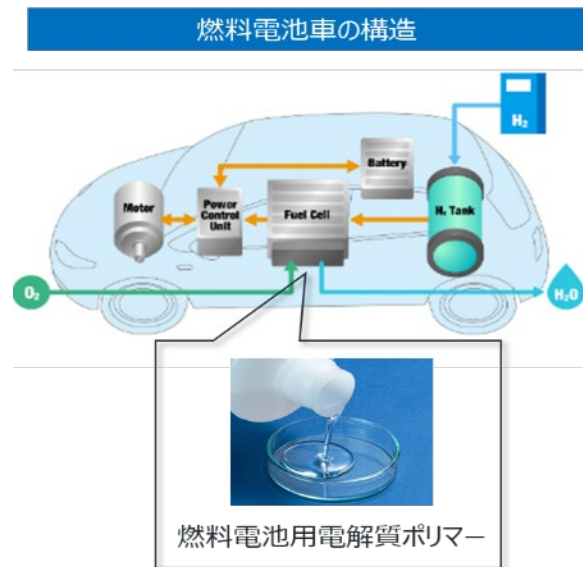
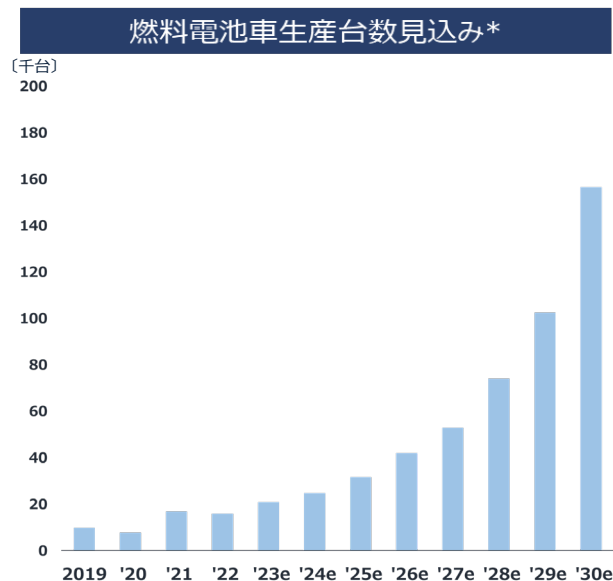
*1 3rdのフロートガラスとLow-E複層ガラス(ガス入り)での熱貫流率での比較

*2 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 平成11年省エネ基準レベルの断熱性能の住宅での試算例をもとに作成

*3 3rdのフロートガラス

*4 中空層12ミリの透明複層ガラス

- 水素社会実現に向けた燃料電池車の普及により、燃料電池用フッ素系電解質ポリマー需要拡大が加速
- 高発電性能と高耐久性を両立させ、圧倒的No.1ポジション



製品・技術、企業活動を通じて、社会的価値を創出

事業 社会的価値	ガラス	電子	化学品	セラミックス
持続可能な 地球環境の実現 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・フロート板ガラス (リサイクル原料使用製品、 薄板化) ・Low-E複層ガラス ・コーティングガラス ・建材一体型太陽電池モジュール ・薄板ガラス(化学強化ガラス) ・自動車用ガラス など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ用ガラス (リサイクル原料使用製品) ・太陽電池カバーガラス ・光学関連部材 ・高速通信用部材 ・高出力LED用ガラス セラミックス基板 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・低環境負荷型冷媒・溶剤 ・燃料電池用部材 ・フッ素樹脂 ・塗料用フッ素樹脂 ・太陽電池保護用フッ素樹脂 フィルム など 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火物 (リサイクル原料使用製品) ・超断熱セラミックス炉壁 ・バイオマス発電ボイラー 用耐火物・エンジニアリング など
安全・快適な 都市インフラの 実現への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・Low-E複層ガラス ・防災・安全合わせガラス ・建物窓取付アンテナ ・自動車用ガラス ・車載用カバーガラス ・遮音合わせガラス ・調光ガラス ・自動車用ガラスアンテナ ・HUD部材 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ用ガラス ・車載センシング・レーダー 用部材 ・半導体製造用部材 ・高速通信用部材 ・AR/MRガラス向けガラス基板 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩ビ ・苛性ソーダ ・次亜塩素酸ソーダ ・重曹 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業炉向け耐火物・ エンジニアリング ・ごみ焼却炉用耐火物・ エンジニアリング など
安心・健康な 暮らしの実現 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・Low-E複層ガラス ・自動車用UVカットガラス など 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用モニター ディスプレイ用ガラス ・高速通信用部材 ・理化学実験用ガラス器具 ・組織培養製品 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品原体・中間体 ・農薬原体・中間体 ・施設園芸用フッ素樹脂フィルム ・水処理用高機能膜 ・重曹(人工透析用輸液) など 	

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの 主な素材・ソリューション

社会的価値

気候変動問題への対応

- 建築用ガラス ■ 自動車用赤外線カットガラス
- バイオマスボイラー用炉材 ■ グリーン冷媒 等

資源の有効利用

- 燃料電池用部材
- リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

持続可能な地球環境の実現への貢献



社会インフラの整備

- 建築用ガラス ■ 苛性ソーダ
- 次亜塩素酸ソーダ ■ 重曹 ■ 塩ビ 等

安全・快適な
モビリティの実現

- 自動車用ガラスアンテナ
- 車載センシング・レーダー用部材 ■ HUD部材 等

情報化・IoT社会の構築

- 建物窓取付アンテナ ■ 半導体製造用部材
- ディスプレイ用ガラス ■ 高速通信用部材 等

安全・快適な都市インフラの実現への貢献



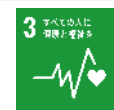
食糧問題への対処

- 農薬原体・中間体
- 農業温室ハウス用フィルム 等

健康・長寿社会への対応

- 医薬品原体・中間体 ■ 高速通信用部材
- 水処理用高機能膜 等

安心・健康な暮らしの実現への貢献



サステナビリティ “健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

AGCグループの 企業活動

社会的価値

気候変動問題への対応

- 継続的な省エネ対策実施
- GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

資源の有効利用

- 再生原材料や再生資材の活用
- 埋立て処分の削減 等

社会・環境に配慮した
サプライチェーン

- 人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

地域社会との関係・
環境配慮

- 水使用量削減 ■ 生物多様性保全
- 環境事故撲滅 ■ 地域のファン作り 等

公正・平等な雇用と
職場の安全確保

- 従業員エンゲージメントの向上
- 重篤災害・休業災害の発生防止 等

持続可能な地球環境の実現への貢献



健全・安心な社会の維持への貢献



公正・安全な働く場の創出への貢献



チャレンジを奨励し、風通しのよい企業文化

- チャレンジを奨励し、風通しのよい企業文化を醸成することを経営の最優先事項の1つに位置づけ、経営層が活動に強くコミット
- 2022年は海外拠点訪問も再開し、対面での対話を拡充

CEOによる対話の回数 推移



企業文化の
継続的な進化

■ ダイバーシティの実現、人財育成に関わる人事諸制度を整備

	2020年		
取締役 ・執行役員	2002年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 外国籍の執行役員登用開始 (2022年1月時点 9%) 	2014年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 女性社外取締役登用開始 	～2030年 <ul style="list-style-type: none"> ● 女性役員比率 30% (2021年末時点 18%) ● 女性執行役員比率 20% (2021年末時点 3%)
		2020年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 社内女性執行役員登用開始 	
人財育成 ・活用	2003年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 「グローバル経営人材育成プログラム」開始 	2011年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 部門横断的ネットワーク活動(CNA) 	2019年～ <ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンティスト育成プログラム開始
	2005年～ <ul style="list-style-type: none"> ● グローバルジョブグレード制 	2011年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 採用方針の策定* -総合職新卒女性採用比率の設定 -外国籍人材採用拡大 	～2030年 <ul style="list-style-type: none"> ● 女性管理職比率 8%程度* (2021年末時点 4%程度)
	2010年～ <ul style="list-style-type: none"> ● スキルマップ 		
人事制度*	1989年～ <ul style="list-style-type: none"> ● フレックス勤務制度(コアタイム無し) 	2011年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 退職者再雇用希望登録制度 	
	2003年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 育休制度(男女問わず) 	2012年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 育児・介護を理由とした在宅勤務制度 (2017年理由を問わず活用可能に) 	
		2017年～ <ul style="list-style-type: none"> ● 配偶者転勤時休職制度 ● 女性活躍事務局設置 	

- 特に日本の社会課題となっているジェンダー関連では、女性活躍にかかわる目標を設定し、着実に推進

女性活躍に関する2030年目標

女性役員比率

30%

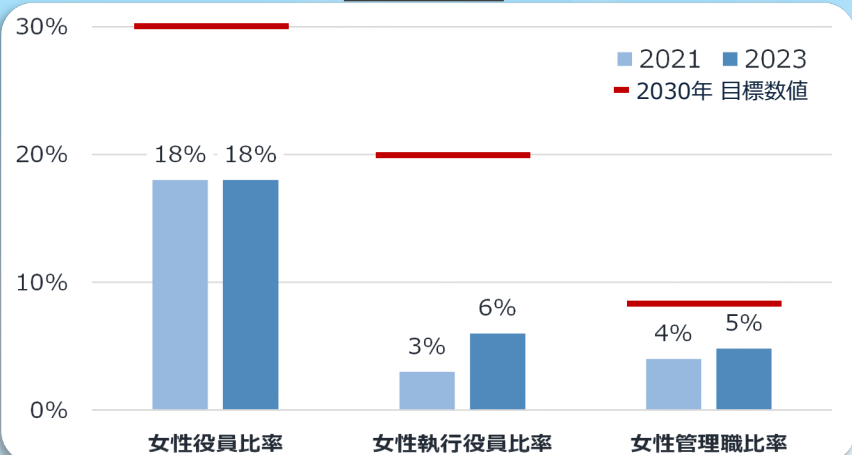
女性執行役員比率

20%

女性管理職比率*

8%

進捗状況



女性活躍推進* 取り組み例

- 2022年に採用における女性比率目標の引き上げ

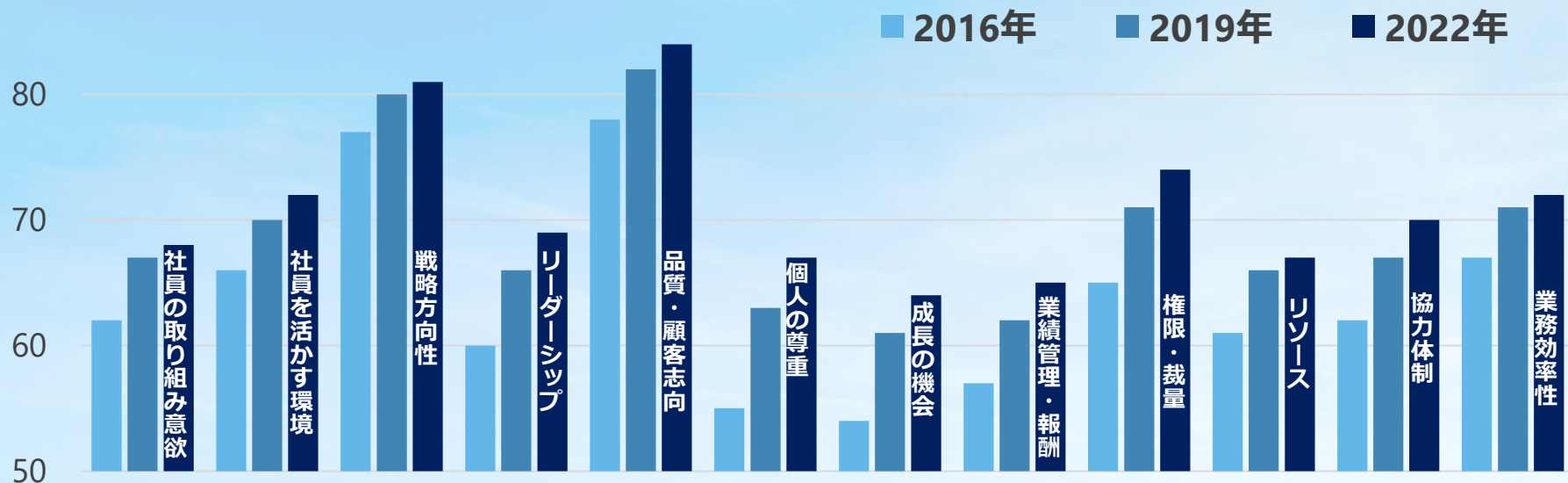
	従来	現在
新卒	20%	30%
キャリア	10%	15%

- ダイバーシティ研修、アンコンシャスバイアス研修の実施
- 個別育成計画にもとづく育成プログラムの実施
 - 女性部長級への役員メンター制度
 - 社外女性役員との対話会
 - ポテンシャル人財の社外女性リーダー育成プログラム参加

など

- 2019年エンゲージメント調査に続き2022年も全ての項目でエンゲージメントスコアが改善
- 2023年からパルス調査を開始し、従業員のエンゲージメント状況をタイムリーに把握予定
- 2030年までにグローバル好業績企業平均と同等のエンゲージメントスコア達成を目指す

エンゲージメント調査*結果の推移



予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

The logo for AGC, consisting of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned to the right of the letter 'G'.

Your Dreams, Our Challenge